

## 令和6年度 奈良県立西和清陵高等学校 学校評価総括表

【高等学校用】

年 度	令和6年度(中期計画3年目・最終年度)
本校の使命(スクール・ミッション)	他者を尊重し、さわやかに振る舞うとともに、課題解決に尽力するなど、社会人としての「生きる力」を育成する。
年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活における目的意識と社会における規範意識を高め、多様な人々とともに、目標に向けて協力する力を育てる。</li> <li>・地域・家庭と連携して主権者教育、消費者教育、金融教育を進め、高校卒業後の10年間を見据えたキャリア教育を推進する。</li> <li>・ICTを活用し、対話的で探究的な学習活動を充実させる。</li> <li>・指導と評価の一体化を意識した学習指導を推進する。</li> <li>・三郷町における唯一の高校として、地域連携を推進し、地域の教育資源を活用した教育を推進する。</li> </ul>

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 ①本校の使命や教育方針を理解する生徒 ②本校で学びたいという強い意識を持ち、自己実現に向けて、主体的に学習に取り組む生徒 ③部活動やボランティア活動等を通して学校生活全般に意欲的に取り組む生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、校訓「清新・敬愛・力行」の精神を基調として、社会人としての「生きる力」を育成することを、教育目標として、その実現のために以下の教育を行います。 ①日々の学習を通して確かな学力を身に付けさせるとともに、思考力・判断力・表現力を高める授業を展開する。 ②人権を尊重する態度やコミュニケーションを培い、自他を敬愛する心と社会規範意識を高める。 ③心と体のバランスを整える力を養い、充実した生き生きとした学校生活を送らせる。 ④人生100年時代を見据えたキャリア教育を推進し、「何を、どのように学び、どう活躍するか」を主体性を持って考え、実践しようとする生徒を育てる。 ⑤進路実現に向け、2年次から文系、文理系、理系のコースを設定するとともに多様な学びに応じた選択教科を設ける。 ⑥進路実現に向けて、進路先の訪問や、招聘する機会等を設けて、個に応じた進路指導を徹底する。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 ①自己の考えをもち、周りの人々と適切なコミュニケーションが図れ、他と協力して問題解決できる。 ②西和清陵高校生としての誇りを持ち、地域社会に貢献でき、信頼される。 ③人権意識と社会規範意識を身に付けている。

## 2 奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和6年度末の目標値等(C)	令和6年度末の状況(D)	自己評価(E)	学校関係者評価(F)	改善方策(案)
1. ころと身体を子どもの成長に合わせてはくぐむ	望ましい運動習慣の確立	スポーツテストにおけるTスコア8%アップ	令和3年度比でTスコアの8%アップ				
	クラブ活動を通じた、達成感、成就感、自己肯定感等の向上	部活動加入率80%以上	部活動や放課後の課外活動への参加率80%以上				
	健康教育の一環として、望ましい食習慣の確立	毎朝の朝食摂取率80%以上	毎朝の朝食摂取率85%以上				
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはくぐむ	基礎・基本的な学力を身につけさせるとともに、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫	BYODにより、効果的にICTを活用した授業の実践	有機的なICT機器の活用による生徒の活動の活性化				
	SDGsの視点を取り入れるなどした探究活動による「主体的・対話的で深い学び」の実現	SDGsに関わる課題研究の発表会の開催	生徒全員による探究活動およびプレゼンテーションの実施				
	学習意欲の向上と自立した主体的な学びの実現	在学中の各種検定取得者70%以上	在学中の各種検定受検者100%以上ならびに検定取得者60%以上				
	教職員が目標達成に向けて、生き生きと働き、確かな達成感を味わうことができる職場環境の構築	ストレスチェック結果の改善と学校衛生委員会の有機的活用	年休取得率の上昇とストレスチェック結果の改善(昨年度比)				
3. 働く意欲と働く力をはくぐむ	キャリアコンサルティングの充実	生徒理解と可能性を伸ばすキャリア教育の推進	職員研修の実施および生徒一人当たり年間5回以上のキャリアコンサルティング面談の実施				
	様々な場面でのコミュニケーションを通じた、もの見方や考え方の育成	産業界・事業所と連携したインターンシップ参加率30%	産業界・事業所・大学・専門学校と連携したインターンシップ参加率50%				
	一人一人の生徒の能力や適性に応じた進路指導の工夫・充実	ミスマッチを防いだ進路保障に努め、1年以内の離職率は5%以下、退学率は1%以下とする。	キャリアコンサルティング理論に基づくキャリア支援の実施および3年生への入学前・就職前指導をとおし進路先への適応を促進する				
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの効果的な運営	教職員との連携と学校運営協議会の年度3回の実施	教職員との連携と学校運営協議会の年度3回の実施と協力体制の構築				
	地域協働「地域と共にある学校づくり」の工夫・充実	地元事業所・役場と連携した行事の開催	三郷町内での小中高の連携事業の発展的継続				
	災害時のボランティア活動の推進	地域と協働した定期的な防災訓練の実施	災害時のボランティア活動に関する実演講習会・研究発表会の実施				
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	誰も取り残さない取組の実践するため、生徒情報の共有化等の組織的体制づくりを完成させる	生徒の組織的支援に努め「いじめ問題」を未然に防ぐ職員集団を確立する				
	特別支援教育の推進	出身中学校等とも連携し、対象となる生徒の状況を組織的に把握し、個に応じた指導を実践する。	出身中学校・関係機関との連携の発展的継続し対象生徒の学校生活を合理的に支援する				
	世界人権宣言を尊重する教育の推進	外部人材を活用した効果的な学習の実践	生徒の能動的な行動による生徒活動の活性化および互いを尊重する質の高い集団の醸成				

## 3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--